

第12回定期大会の大成功へ

全専従者会議を開催、10月2日、動力車会館において

日刊
動力千葉

87. 10. 5

No. 2670

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（22）七二〇七

争議団として闘いぬく 全解雇者が多量の決意

十月二日、動力千葉は、全専従者会議を開催し、すべての解雇者が全力で頑張りぬき、ハンドル、ハンマーを奪還するまで不屈に闘いぬくことを意志統一し、当面、十月十六日・十七日に開催される第十二回定期大会を圧倒的に成功させるために全力で決起することを確認した。

あらゆる困難をのりこえ
誇りにかけ勝利する

われわれは、まず、いかなる場面、場所においても不屈に闘いぬき、不当極まりない解雇を撤回させるまであらゆる困難があろうとも全力で闘いぬき、そして、組合員の付託に応じて献身的に行動し、労働階級の誇りにかけて絶対に勝利するものである。

とりわけ、この二年間「国鉄分割・民営化」という希代の暴挙の中で二波のストライキ、七波の順法闘争、数々の職場抵抗闘争を闘いぬき、資本・動労革マル一体となった悪らつな攻撃にうちかち、勝利の地平の上で開催される第十二回定期大会の圧倒的成功をかちとることはこのうえなく重要なことである。

われわれは、この大成功に向けて、全身全霊をかけて決起するものである。

資本・当局、動労革マルを
追いつめ原職を奪還する

また、われわれは、争議団としての位置付けを鮮明にして、何年かかろうとも資本、当局、動労革マルを徹底的に追いつめ、必ず原職を奪還するまで闘い続ける。文字通り、人生をかけた闘いである以上、絶対に負けるわけにはいかないし、不屈に闘いぬく以外に動労千葉の勝利もないという

ことは明らかである。解雇者はすべての組合員の先頭で闘い、組合員も解雇者の奪還を目指し闘いぬき、そして、今まさに、日本労働運動史上かつてなかった前人未踏の地平を切り開き突き進んでいるのだ。

この地平をさらに前進させることが、唯一動労千葉の勝利の道であることは明らかである。全力で押し進めよう。

事業部運動の壮大な発展を

そして、この闘いをさらに発展させるために、われわれは、さらに決意を固めて全力で決起する。とりわけ、物品販売運動を基軸とした事業部運動の飛躍的発展、強化・拡大をかちとることは、財政基盤の確立をはかるうえからも最重要の闘いである。協販部、共同購入の会、カナメ商事の運動をさらに拡大し、壮大な運動を実現させるために粉骨砕身頑張りぬかなければならない。

そして、動労千葉の闘う方針のもと、さらに体制の強化をはかり、第十二回定期大会を圧倒的に成功させるために、すべての組合員の最先頭で決起する。

当面、「10・11三里塚現地集會」にすべての組合員が決起し、その迫力で続く第十二回定期大会を大成功させるために、すべての解雇者はあらゆる制約を払拭して全力で闘いぬくものである。

10・11三里塚現地へ！
動労以外全力決起を
続く定期大会の成功へ進撃を

